

# ボーリング柱状図

調査名 \_\_\_\_\_

ボーリングNO. 

--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--

事業・工事名 \_\_\_\_\_

シートNO. \_\_\_\_\_

ボーリング名	No.B-2(A203)		調査位置			北緯	36° 58' 09.0000"					
発注機関	栃木県日光土木事務所				調査期間	2009-07-14 ~ 2009-07-15		東経	139° 30' 28.0000"			
調査業者名				主任技師			現場代理人			ボーリング責任者		
孔口標高	89.71 m	角度			地盤勾配			使用機種	試錐機		ハンマー 落下用具	
総掘進長	5.02 m	度	0°		鉛直	90°		エンジン			ポンプ	

標尺 (m)	層高 (m)	厚度 (m)	深度 (m)	柱状図	土質区分	色調	相対密度	相対稠度	記事	地層岩体区分	孔内水位 (m)	標準貫入試験				原位置試験 試験名および結果	試料採取 深度 (m)	採取方法	室内試験	掘進月日
												10cmごとの打撃回数	打撃回数 / 貫入量 (cm)		N値					
					礫混じり粘土 (CH-G)	暗褐			2~40mm程度の角礫が混じる。			0	10	20						
1	88.71	1.00	1.00		砂岩 (Ss)				所々、礫状化しているが、ほとんどが柱状コアとなり、コア採取率は100%に近い。亀裂面は密着している。		1.00	50/2	50/2	>50						
2											2.00	50/2	50/2	>50						
3						暗灰					07/14 3.00	50/1	50/1	>50						07/14
4											4.00	50/2	50/2	>50						
5	84.69	4.02	5.02								07/15 5.02	50/2	50/2	>50						07/15